

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	鹿児島情報ビジネス公務員専門学校
設置者名	理事長 川越 宏樹

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
工業専門課程	システム工学科	夜・通信	352 単位時間	240 単位時間	
	情報システム科	夜・通信	192 単位時間	160 単位時間	
商業実務専門課程	総合ビジネス科	夜・通信	176 単位時間	160 単位時間	
	医療秘書科	夜・通信	160 単位時間	160 単位時間	
	公務員科 (2年制課程)	夜・通信			
	公務員科 (1年制課程)	夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページにて公表 https://www.kbcc.ac.jp/engine/wp-content/uploads/2022/06/info_c-1-5.pdf

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由) 公務員科(商業実務専門課程)は筆記試験、面接試験といった公務員試験に特化した授業を実施しており、想定しうる実務経験を持ったものがないため

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	鹿児島情報ビジネス公務員専門学校
設置者名	理事長 川越 宏樹

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページにて公表 https://www.kbcc.ac.jp/engine/wp-content/uploads/2022/06/info_a-5-3.pdf

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	現県議会議員	令和元年 7月17日 ～ 令和5年 7月16日	外部理事として、組織運営体制へのチェック機能を果たすとともに、学校法人の最終的な意思決定機関である理事会において、学校運営計画の策定等に対してその知見の十分な活用を図る。
非常勤	元県議会議長		
(備考)			

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	
設置者名	

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	
役割	

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
(備考)		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	鹿児島情報ビジネス公務員専門学校
設置者名	理事長 川越 宏樹

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> 各授業科目の概要や目標、身につけるべき事項を、教育課程編成委員会での意見を踏まえ、校内カリキュラム検討委員会で審議し、決定。 授業計画書(シラバス)は年度末までに作成し、新年度オリエンテーションで学生に周知の上、新年度当初にホームページにて公表。 	
授業計画書の公表方法	<p>ホームページにて公表</p> <p>https://www.kbcc.ac.jp/syllabus/</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> 成績評価は、鹿児島情報ビジネス公務員専門学校「単位認定の方針について」に基づき、検定取得状況、日常の授業態度、確認テスト、出席率、ホームワーク状況で行う。 評価基準 成績評価は優、良、可、不可の4段階とする。 「優」：授業内容に対する理よび日常の授業態度が著しく優秀な者 「良」：授業内容に対する理解および日常の授業態度が良好な者 「可」：授業内容に対する理解および日常の授業態度が普通の者 「不可」：授業内容に対する理解および日常の授業態度が劣る者 考查資格 科目終了時に当該科目の出席率を集計し、80%以上の出席率のない者は考查の対象とならない。従って成績いかんにかかわらず、不可評価となり追試験を受験する。 	

<ul style="list-style-type: none"> ・ 追試験 a. 理由なく試験を受けなかった者には追試験を認めない。 b. 不可評価の者は追試験を行い学習の機会を与える。 c. 追試験に合格しない者は卒業・進級を認めない（留年）。 d. 追試験の合格者は原則として可評価とする。 	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 履修科目の成績評価を点数化し、全科目の合計点の平均を算出する。 優：3点，良：2点，可：1点，不可：0点 ・ 客観的な指標として，全科目の合計点を算出し，成績分布を示す。 	
客観的な指標の算出方法の公表方法	https://www.kbcc.ac.jp/engine/wp-content/uploads/2022/08/info_c-2-1-1.pdf
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育目標に掲げる人材を育成するため，所定の期間在学し，所属学科において定める専門分野に関する知識・技能並びに教養を身につけ，所定の単位を修得し，学校（学科）規定に定める試験に合格した学生は卒業が認定される。 ・ 年度末に行う「卒業・進級判定会議」を開催し，成績一覧表(出席率・成績・取得検定試験)および学費納入状況を照合し行い，卒業および進級の認定を実施する。 	
卒業の認定に関する方針の公表方法	https://www.kbcc.ac.jp/engine/wp-content/uploads/2022/06/info_c-2-1-1.pdf

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	鹿児島情報ビジネス公務員専門学校
設置者名	理事長 川越 宏樹

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.kbcc.ac.jp/engine/wp-content/uploads/2022/06/info_f-2-4.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://www.kbcc.ac.jp/engine/wp-content/uploads/2022/06/info_f-2-4.pdf
財産目録	https://www.kbcc.ac.jp/engine/wp-content/uploads/2022/06/info_f-2-4.pdf
事業報告書	https://www.kbcc.ac.jp/engine/wp-content/uploads/2022/06/info_f-2-4.pdf
監事による監査報告（書）	https://www.kbcc.ac.jp/engine/wp-content/uploads/2022/06/info_f-2-4.pdf

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

〈システム工学科〉

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	システム工学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	2, 880 単位時間/単位	928 単位時間	352 単位時間	1600 単位時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位
		2, 880 単位時間/単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		19人	0人	2人	3人	5人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> 各授業科目の内容の概要や目標や身につけるべき事項を、教育課程編成委員会での意見を踏まえ、校内カリキュラム検討委員会で審議し、決定。 授業計画書(シラバス)は年度末までに作成し、新年度オリエンテーションで学生に周知の上、新年度当初にホームページにて公表。
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> 成績評価は、鹿児島情報ビジネス公務員専門学校「単位認定の方針について」に基づき、検定取得状況、日常の授業態度、確認テスト、出席率、ホームワーク状況で行う。

<ul style="list-style-type: none"> ・評価基準 成績評価は優、良、可、不可の4段階とする。 「優」：授業内容に対する理よび日常の授業態度が著しく優秀な者 「良」：授業内容に対する理解および日常の授業態度が良好な者 「可」：授業内容に対する理解および日常の授業態度が普通の者 「不可」：授業内容に対する理解および日常の授業態度が劣る者 ・考査資格 科目終了時に当該科目の出席率を集計し、80%以上の出席率のない者は考査の対象とならない。従って成績いかんにかかわらず、不可評価となり追試験を受験する。 ・追試験 a. 理由なく試験を受けなかった者には追試験を認めない。 b. 不可評価の者は追試験を行い学習の機会を与える。 c. 追試験に合格しない者は卒業・進級を認めない（留年）。 d. 追試験の合格者は原則として可評価とする。

卒業・進級の認定基準

<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育目標に掲げる人材を育成するため、所定の期間在学し、所属学科において定める専門分野に関する知識・技能並びに教養を身につけ、所定の単位を修得し、学校(学科)規定に定める試験に合格した学生は卒業が認定される。 ・年度末に行う「卒業・進級判定会議」を開催し、成績一覧表(出席率・成績・取得検定試験)および学費納入状況を照合し行い、卒業および進級の認定を実施する。

学修支援等

<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補講、個別指導、保護者との連携、臨床心理士との相談を行い、教職員全員で取り組んでいる。
--

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0人 (100%)	0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容)			

(主な学修成果 (資格・検定等))
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
8人	0人	0.0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		

〈情報システム科〉

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	情報システム科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1, 920 単位時間/単位	704 単位時間	320 単位時間	896 単位時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			1, 920 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		28人	0人	2人	2人	4人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> 各授業科目の内容の概要や目標や身につけるべき事項を、教育課程編成委員会での意見を踏まえ、校内カリキュラム検討委員会で審議し、決定。 授業計画書（シラバス）は年度末までに作成し、新年度オリエンテーションで学生に周知の上、新年度当初にホームページにて公表。 	
成績評価の基準・方法	
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> 成績評価は、鹿児島情報ビジネス公務員専門学校「単位認定の方針について」に基づき、検定取得状況、日常の授業態度、確認テスト、出席率、ホームワーク状況で行う。 評価基準 成績評価は優、良、可、不可の4段階とする。 「優」：授業内容に対する理よび日常の授業態度が著しく優秀な者 「良」：授業内容に対する理解および日常の授業態度が良好な者 「可」：授業内容に対する理解および日常の授業態度が普通の者 「不可」：授業内容に対する理解および日常の授業態度が劣る者 考查資格 科目終了時に当該科目の出席率を集計し、80%以上の出席率のない者は考查の対象とならない。従って成績いかんにかかわらず、不可評価となり追試験を受験する。 追試験 <ol style="list-style-type: none"> 理由なく試験を受けなかった者には追試験を認めない。 不可評価の者は追試験を行い学習の機会を与える。 追試験に合格しない者は卒業・進級を認めない（留年）。 追試験の合格者は原則として可評価とする。 	
卒業・進級の認定基準	
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> 教育目標に掲げる人材を育成するため、所定の期間在学し、所属学科において定める専門分野に関する知識・技能並びに教養を身につけ、所定の単位を修得し、学校（学科）規定に定める試験に合格した学生は卒業が認定される。 	

<ul style="list-style-type: none"> ・年度末に行う「卒業・進級判定会議」を開催し、成績一覧表(出席率・成績・取得検定試験)および学費納入状況を照合し行い、卒業および進級の認定を実施する。
学修支援等
(概要) <ul style="list-style-type: none"> ・補講，個別指導，保護者との連携，臨床心理士との相談を行い，教職員全員で取り組んでいる。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
9人 (100%)	0人 (0.0%)	8人 (88.9%)	1人 (11.1%)
(主な就職、業界等)			
<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータ業界 			
(就職指導内容)			
<ul style="list-style-type: none"> ・業界研究 ・自己分析 ・履歴書作成指導 ・面接指導 			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
<ul style="list-style-type: none"> ・応用情報技術者試験 ・J検情報システム試験 ・基本情報技術者試験 ・情報処理技術者能力試験 			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
26人	2人	7.7%
(中途退学の主な理由)		
<ul style="list-style-type: none"> ・進路変更 ・体調不良（精神的疾患） 		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
<ul style="list-style-type: none"> ・担任による個別面談・指導，保護者との三者面談，臨床心理士による個別面談 ・学習面での補講など 		

〈総合ビジネス科〉

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務 専門課程	総合ビジネス科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	会計実務：1, 920 ショップ・ホテル：1, 920 (1年：Web&動画) 単位時間/単位	1184	416	320		
			768	384	768	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		29人	0人	2人	8人	10人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)	
<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> 各授業科目の内容の概要や目標や身につけるべき事項を、教育課程編成委員会での意見を踏まえ、校内カリキュラム検討委員会で審議し、決定。 授業計画書(シラバス)は年度末までに作成し、新年度オリエンテーションで学生に周知の上、新年度当初にホームページにて公表。 	
成績評価の基準・方法	
<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> 成績評価は、鹿児島情報ビジネス公務員専門学校「単位認定の方針について」に基づき、検定取得状況、日常の授業態度、確認テスト、出席率、ホームワーク状況で行う。 評価基準 成績評価は優、良、可、不可の4段階とする。 「優」：授業内容に対する理よび日常の授業態度が著しく優秀な者 「良」：授業内容に対する理解および日常の授業態度が良好な者 「可」：授業内容に対する理解および日常の授業態度が普通の者 「不可」：授業内容に対する理解および日常の授業態度が劣る者 考査資格 科目終了時に当該科目の出席率を集計し、80%以上の出席率のない者は考査の対象とならない。従って成績いかんにかかわらず、不可評価となり追試験を受験する。 追試験 a. 理由なく試験を受けなかった者には追試験を認めない。 b. 不可評価の者は追試験を行い学習の機会を与える。 c. 追試験に合格しない者は卒業・進級を認めない(留年)。 d. 追試験の合格者は原則として可評価とする。 	
卒業・進級の認定基準	
<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> 教育目標に掲げる人材を育成するため、所定の期間在学し、所属学科において定め 	

<p>る専門分野に関する知識・技能並びに教養を身につけ、所定の単位を修得し、学校(学科)規定に定める試験に合格した学生は卒業が認定される。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度末に行う「卒業・進級判定会議」を開催し、成績一覧表(出席率・成績・取得検定試験)および学費納入状況を照合し行い、卒業および進級の認定を実施する。
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補講、個別指導、保護者との連携、臨床心理士との相談を行い、教職員全員で取り組んでいる。

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
11人 (100%)	1人 (9.1%)	10人 (90.9%)	0人 (0.0%)
(主な就職、業界等)			
<ul style="list-style-type: none"> ・税理士事務所、一般企業事務・経理事務・総合職 ・ホテル、アパレルメーカー 			
(就職指導内容)			
<ul style="list-style-type: none"> ・業界研究 ・自己分析 ・履歴書作成指導 ・面接指導 			
(主な学修成果(資格・検定等))			
<ul style="list-style-type: none"> ・日商簿記検定2級 ・建設業経理士2級 ・所得税法能力検定試験2級 ・法人税法能力検定試験2級 ・日商販売士検定2級 ・ホテル実務技能検定 ・サービス接客検定準1級 ・ビジネス文書検定2級 			
(備考)(任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
25人	2人	8.0%
(中途退学の主な理由)		
<ul style="list-style-type: none"> ・進路変更 ・体調不良(病気) 		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
<ul style="list-style-type: none"> ・担任による個別面談・指導、保護者との三者面談、臨床心理士による個別面談 ・学習面での補講など 		

〈医療秘書科〉

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士	
商業実務		商業実務 専門課程	医療秘書科	○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類			
			講義	演習	実習	実験
2年	昼間	1,952 単位時間/単位	1304 単位時間	544 単位時間	104 単位時間	単位時間 /単位
			単位時間/単位			
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
60人		34人	0人	2人	7人	9人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> 各授業科目の内容の概要や目標や身につけるべき事項を、教育課程編成委員会での意見を踏まえ、校内カリキュラム検討委員会で審議し、決定。 授業計画書（シラバス）は年度末までに作成し、新年度オリエンテーションで学生に周知の上、新年度当初にホームページにて公表。
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> 成績評価は、鹿児島情報ビジネス公務員専門学校「単位認定の方針について」に基づき、検定取得状況、日常の授業態度、確認テスト、出席率、ホームワーク状況で行う。 評価基準 成績評価は優、良、可、不可の4段階とする。 「優」：授業内容に対する理よび日常の授業態度が著しく優秀な者 「良」：授業内容に対する理解および日常の授業態度が良好な者 「可」：授業内容に対する理解および日常の授業態度が普通の者 「不可」：授業内容に対する理解および日常の授業態度が劣る者 考査資格 科目終了時に当該科目の出席率を集計し、80%以上の出席率のない者は考査の対象とならない。従って成績いかんにかかわらず、不可評価となり追試験を受験する。 追試験 a. 理由なく試験を受けなかった者には追試験を認めない。 b. 不可評価の者は追試験を行い学習の機会を与える。 c. 追試験に合格しない者は卒業・進級を認めない（留年）。 d. 追試験の合格者は原則として可評価とする。
卒業・進級の認定基準

<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育目標に掲げる人材を育成するため、所定の期間在学し、所属学科において定める専門分野に関する知識・技能並びに教養を身につけ、所定の単位を修得し、学校(学科)規定に定める試験に合格した学生は卒業が認定される。 ・年度末に行う「卒業・進級判定会議」を開催し、成績一覧表(出席率・成績・取得検定試験)および学費納入状況を照合し行い、卒業および進級の認定を実施する。
学修支援等
<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補講、個別指導、保護者との連携、臨床心理士との相談を行い、教職員全員で取り組んでいる。

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
13人 (100%)	0人 (0%)	13人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等)			
・全員、医療機関			
(就職指導内容)			
<ul style="list-style-type: none"> ・業界研究 ・自己分析 ・履歴書作成指導 ・面接指導 			
(主な学修成果(資格・検定等))			
<ul style="list-style-type: none"> ・診療報酬請求事務能力認定試験 ・医療事務技能審査試験(医科) ・秘書検定1級、準1級 ・サービス接客検定準1級 		<ul style="list-style-type: none"> ・医療秘書検定2級 ・調剤事務管理士技能認定試験 ・ビジネス文書2級 	
(備考)(任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
25人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		

〈公務員科 2年制〉

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士	
商業実務		商業実務 専門課程	公務員科 2年制	○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類			
			講義	演習	実習	実験
2年	昼間	1, 856 単位時間/単位	1120 単位時間	704 単位時間	32 単位時間	単位時間 /単位
			単位時間/単位			
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
60人		56人	0人	3人	2人	5人

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)					
(概要)					
<ul style="list-style-type: none"> 各授業科目の内容の概要や目標や身につけるべき事項を、教育課程編成委員会での意見を踏まえ、校内カリキュラム検討委員会で審議し、決定。 授業計画書(シラバス)は年度末までに作成し、新年度オリエンテーションで学生に周知の上、新年度当初にホームページにて公表。 					
成績評価の基準・方法					
(概要)					
<ul style="list-style-type: none"> 成績評価は、鹿児島情報ビジネス公務員専門学校「単位認定の方針について」に基づき、検定取得状況、日常の授業態度、確認テスト、出席率、ホームワーク状況で行う。 評価基準 成績評価は優、良、可、不可の4段階とする。 「優」：授業内容に対する理よび日常の授業態度が著しく優秀な者 「良」：授業内容に対する理解および日常の授業態度が良好な者 「可」：授業内容に対する理解および日常の授業態度が普通の者 「不可」：授業内容に対する理解および日常の授業態度が劣る者 考查資格 科目終了時に当該科目の出席率を集計し、80%以上の出席率のない者は考查の対象とならない。従って成績いかんにかかわらず、不可評価となり追試験を受験する。 追試験 a. 理由なく試験を受けなかった者には追試験を認めない。 b. 不可評価の者は追試験を行い学習の機会を与える。 c. 追試験に合格しない者は卒業・進級を認めない(留年)。 d. 追試験の合格者は原則として可評価とする。 					
卒業・進級の認定基準					
(概要)					
<ul style="list-style-type: none"> 教育目標に掲げる人材を育成するため、所定の期間在学し、所属学科において定める専門分野に関する知識・技能並びに教養を身につけ、所定の単位を修得し、学校 					

<p>(学科) 規定に定める試験に合格した学生は卒業が認定される。</p> <p>・年度末に行う「卒業・進級判定会議」を開催し、成績一覧表(出席率・成績・取得検定試験)および学費納入状況を照合し行い、卒業および進級の認定を実施する。</p>
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>・補講, 個別指導, 保護者との連携, 臨床心理士との相談を行い, 教職員全員で取り組んでいる。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
27人 (100%)	6人 (22.2%)	20人 (74.1%)	1人 (3.7%)
(主な就職、業界等)			
・国家公務員, 市町村職員, 警察官, 消防官, 一般企業			
(就職指導内容)			
・業界研究 ・自己分析 ・履歴書作成指導 ・面接指導			
(主な学修成果 (資格・検定等))			
・サーティファイ Excel 表計算, Word 文書処理 ・ニュース時事能力検定			
(備考) (任意記載事項)			
※進路先・その他→自宅学習で公務員を再度目指す場合			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
58人	6人	10.3%
(中途退学の主な理由)		
・進路変更 ・体調不良 (病気・精神疾患)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
・担任による個別面談・指導, 保護者との三者面談, 臨床心理士による個別面談 ・学習面での補講など		

〈公務員科 1 年制〉

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士	
商業実務		商業実務 専門課程	公務員科 1 年制			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類			
			講義	演習	実習	実験
1 年	昼間	9 7 6 単位時間／単位	5 9 2 単位時間	3 6 0 単位時間	2 4 単位時間	単位時間 ／単位
			単位時間／単位			
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
4 0 人		1 4 人	0 人	3 人	2 人	5 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）					
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> 各授業科目の内容の概要や目標や身につけるべき事項を、教育課程編成委員会での意見を踏まえ、校内カリキュラム検討委員会で審議し、決定。 授業計画書(シラバス)は年度末までに作成し、新年度オリエンテーションで学生に周知の上、新年度当初にホームページにて公表。 					
成績評価の基準・方法					
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> 成績評価は、鹿児島情報ビジネス公務員専門学校「単位認定の方針について」に基づき、検定取得状況、日常の授業態度、確認テスト、出席率、ホームワーク状況で行う。 評価基準 成績評価は優、良、可、不可の4段階とする。 「優」：授業内容に対する理よび日常の授業態度が著しく優秀な者 「良」：授業内容に対する理解および日常の授業態度が良好な者 「可」：授業内容に対する理解および日常の授業態度が普通の者 「不可」：授業内容に対する理解および日常の授業態度が劣る者 考查資格 科目終了時に当該科目の出席率を集計し、80%以上の出席率のない者は考查の対象とならない。従って成績いかんにかかわらず、不可評価となり追試験を受験する。 追試験 a. 理由なく試験を受けなかった者には追試験を認めない。 b. 不可評価の者は追試験を行い学習の機会を与える。 c. 追試験に合格しない者は卒業・進級を認めない（留年）。 d. 追試験の合格者は原則として可評価とする。 					
卒業・進級の認定基準					
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> 教育目標に掲げる人材を育成するため、所定の期間在学し、所属学科において定める専門分野に関する知識・技能並びに教養を身につけ、所定の単位を修得し、学校 					

<p>(学科) 規定に定める試験に合格した学生は卒業が認定される。</p> <p>・年度末に行う「卒業・進級判定会議」を開催し、成績一覧表(出席率・成績・取得検定試験)および学費納入状況を照合し行い、卒業および進級の認定を実施する。</p>
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>・補講、個別指導、保護者との連携、臨床心理士との相談を行い、教職員全員で取り組んでいる。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
22人 (100%)	1人 (4.5%)	19人 (86.4%)	2人 (9.1%)
(主な就職、業界等)			
・国家公務員，市町村職員，警察官，消防官，一般企業			
(就職指導内容)			
・業界研究 ・自己分析 ・履歴書作成指導 ・面接指導			
(主な学修成果 (資格・検定等))			
・サーティファイ Excel 表計算，Word 文書処理 ・ニュース時事能力検定			
(備考) (任意記載事項)			
※進路先・その他→自宅学習で公務員を再度目指す場合			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
16人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
システム工学科	150,000 円	600,000 円	300,000 円	
情報システム科	150,000 円	600,000 円	300,000 円	
総合ビジネス科	150,000 円	600,000 円	200,000 円	
医療秘書科	150,000 円	600,000 円	200,000 円	
公務員科 2年制	150,000 円	600,000 円	200,000 円	
公務員科 1年制	150,000 円	600,000 円	200,000 円	
修学支援 (任意記載事項)				
試験による特別奨学金制度, 資格保有者優待制度, AO入学制度, 家族入学優待制度				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページにて公表 https://www.kbcc.ac.jp/engine/wp-content/uploads/2022/06/info_e-5.pdf
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 自己点検・評価を職員が一体となって取り組み, 自ら学校運営, 教育活動を改善していくとともに, 特に学校と関連の深い企業等の関係者, 卒業生などからなる「学校関係者評価委員会」を設置して評価を実施し, 公表するとともに, この評価に沿った改善を図っていくこととする。また, これらの意見を反映し, 学校側の意向に沿ったものに偏らないよう, 真に社会が求める職業に必要な実践的かつ専門的な教育を行うことを第一義とし, 学生, 保護者の意向にも十分配慮した教育内容および学校運営を目指すことを基本方針とする。 学校関係者評価の主な評価項目は次のとおりである。 ・建学の精神・教育理念, 教育目的・教育目標 ・教育の内容 ・教育の実施体制 ・教育目標の達成度と教育効果 ・学生支援 ・社会的活動 ・管理・運営

学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
一般社団法人 鹿児島県情報サービス産業協会	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日	業界団体
株式会社スマートエンジニアリング	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日	企業
特定非営利活動法人 鹿児島デザイン協会	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日	業界団体
株式会社小森昌章建築設計事務所	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日	企業
南九州税理士会鹿児島県連合会	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日	業界団体
合名会社 エムコミュニケーション	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日	企業
鹿児島医療経営研究会 (KMM)	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日	業界団体
医療法人 上原クリニック	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日	医療機関
株式会社 土佐屋	令和3年4月1日～ 令和5年3月31日	卒業生
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページにて公表 https://www.kbcc.ac.jp/engine/wp-content/uploads/2022/06/info_e-6.pdf		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.kbcc.ac.jp/
--